

サ・エ・ラ

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



撮影場所：東長寺（博多千年祭夜）
撮影者：ユニティリンク 川添 大悟

卷頭あいさつ

知れば、なるほど! 新人スタッフ紹介

整形外科の疾患 ヘルニア・腱結節

アビスパ福岡 ベトナム遠征帶同記

海外エッセイ 台湾台北（松田先生）

軽食・喫茶紹介

お知らせ

院外研修実績

理 念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

- 患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療がうけられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様が満足いただける医療をめざします。
- 診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。
- 一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
- 病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
- 職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
- 地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

病院IT化の (information technology) 現況と展望



福岡整形外科病院 理事長・院長

王寺 享弘
ohdera toshihiro

昨年、病院は創立35年目の年を迎えました。平成25年度は病院が新たなる飛躍を遂げるべき、大事なスタートの年であると考えています。

平成23年5月で病院の再開発事業は無事に終了しましたので、いわゆるハードの部門は現時点では完成したと感じています。

次に目指すのはソフトの面の追求です。そういう意味では昨年の一年間は病院内部のIT(information technology)化整備の年であったと思っています。平成23年10月から運用を開始した電子カルテは少しづつ改良を積み重ね、現在では病棟回診は従来の体温板なしで患者さまの状態を把握しながら行っています。各医師はそれが専用のノートパソコンを持ち運び、病院内のどこからでも情報を得ることができます、かつ指示を出すことができます。

また医療行為のリスクを最小限にするために、患者認証システムを昨年から導入しました。入院されている患者さまはバーコードが記入されているリストバンドをはめるようになり、それを照合して本人であることを確認し、点滴や検査などの医療業務を行っています。これは随時外来の患者さまにも広げていくようになります。さらに入院される方の持参される薬を調べ当院から処方する薬との配合禁止や、既往歴から当院で処方する際の禁忌や要注意などがオーダリング上に自動的に示されるソフトを導入しました。患者さまの中には他

院から多くの薬を処方されている方もいますから、本当に大助かりです。これらは“安全な医療、身体に優しい医療”を目指すために必要不可欠なものです。

診療面に於いても整形外科疾患のクリニック・バスのオーダリング上での運用を一斉に開始しました。整形外科単科の当院では治療する疾患の内訳はおおよそ限られていますし、これらを画一化して合理的にかつスピーディーに間違いなく行えることは大切です。もちろんクリニック・バスにとらわれず、患者さま一人一人をしっかりと診て治療することの重要性は言うまでもありません。

このように病院内部のIT化を推進してきましたが、これを全体的に管理しつゝ問題点を解決して、総合的に判断する情報システム管理委員会を立ち上げました。医療現場から上がってくるさまざまな指摘を、医療ソフト会社の方と定期的に討議を行っています。同時に個人情報の漏えい防止の対策も実施しています。

最後に医学の分野が日進月歩であるように、この医療に於けるIT化は今後も将来にわたって発展進歩していく、エンドレスに続くものと思われます。このことが最新の医療環境の中で、最新の医療を提供できているものと考えております。

？ 知れば、なるほど！

患者さまの診療に関する
素朴な疑問を
わかりやすく解説します！

入院時に持参薬のチェックをする理由とは？

薬局 松尾 昭代

「持参薬」とは、入院時に患者さまが持つてこられたいつも使用している薬のことです。「持参薬」は当院から処方された薬だけでなく、他に受診している医療機関の薬もあります。

当院では、薬剤師が持参薬の内容をチェックしています。持参薬の内容を正しく確認することは、患者さまに安心して治療を受けて頂くために重要なことです。

- ◆手術前に中止が必要な薬が、確実に中止されているかを確認し、安全に手術が行えるようにします。
- ◆入院中に処方される薬との飲み合わせや、重複投薬をさけることができます。
- ◆自宅で服用している薬が入院中に使用できます。又、持ってきた薬がなくなったら、当院より同成分薬や代替薬を処方することができます。
- ◆医薬品名、規格 (mg数など)、用法・用量等を正確に確認し医師に情報提供することで、入院中の治療の向上になります。

他の医療機関から処方された薬や、ジェネリック医薬品の増加もあるため簡単に識別できない薬も多く、持参薬のチェックは必要なものとなっています。今後も患者さまの入院中の治療に役立てるよう努力していきます。



整形外科の疾患

ヘバーデン 結節



医師 松田 秀策

日本整形外科学会専門医
日本手外科学会会員

1. ヘバーデン結節とは？

指の第1関節(DIP関節：1番指先の関節)の背側にできる骨変形による膨らみのことを指し、この病気を1802年に報告した英国の医師 William Heberden博士の名にちなんでヘバーデン結節と呼ばれています。この病気は関節の表面を覆う軟骨の老化や摩耗によって起こる変性疾患(変形性関節症)であり、母指の付け根(CM関節)におけるCM関節症や第2関節(PIP関節：指の真ん中の関節)におけるブシャール結節なども同様の手の変形性関節症であります。



2. 原因

正確な原因は不明ですが、40歳以上の女性に多く発症します。成因としては加齢や指先の過度の使用などで起こるのではないかと言われています。またヘバーデン結節は中高年女性に多く発症することから、背景に女性ホルモンの変調やストレスが多くかかる環境や、ストレスを受けやすい体质なども関係しているようです。遺伝性は証明されていませんが、母娘、姉妹間では高率に認められています。



3. 症状

症状は人さし指から小指にかけてのDIP関節(1番指先の関節)が赤く腫れたり、指が曲がったまま伸ばしにくくなったりするのが主な症状で、痛みを伴うこともあります。またDIP関節の背側に水ぶくれのようになることもあります(ミューカスシスト：粘液腫と言います)。

- ① 指先に力が入りにくい(容器のふたが開けられない、つまむことが出来ない、など)
- ② 強く握るとDIP関節が痛む
- ③ DIP関節の動き(屈伸：特に伸ばす方)が悪い
- ④ DIP関節が腫れている
- ⑤ DIP関節が変形している

こうした症状が診られる場合は、ヘバーデン結節の可能性があります。



4. 診断と検査

ヘバーテン結節の診断は、視診、触診などの理学所見(診察)とX線による画像診断で行われます。症状の項で示しましたように、DIP関節(1番指先の関節)の腫れや熱感、変形、動き(屈伸)が悪い、痛みの有無を診察することのか、X線では、関節の隙間(骨と骨との間)が狭くなったり、関節が壊れたり、骨のとげ(骨棘と言います)が突出するなどの、いわゆる変形性関節症の所見があれば、ヘバーテン結節と診断されます。

鑑別する病気としては、乾癬性関節炎(皮膚の発疹を伴う関節炎)などのはかに、最も重要なのは関節リウマチです。関節リウマチの症状は、両側性におこる関節痛や腫脹(腫れ)、炎症による体のだるさ、朝のこわばりなどから起こることで多いですが、手指の場合の発症部位は手関節(手首)や指ではPIP(指先から2番目の関節)、MP(指先から3番目)関節のことが多く、DIP関節に起こることはほとんどありません。またX線でも、リウマチの場合は骨が炎症によって溶けていくのに対し、ヘバーテン結節では、骨が負担などにより増殖していく(骨棘など)像が診られるため、区別することができます。

ヘバーテン結節の場合の痛みは、ある一定期間を過ぎれば治まることが多いですが(多少変形は残りますが)、関節リウマチは進行性の多関節炎ですので、診察やX線検査のほかに、血液検査などをすることで早期に診断し、早期から治療することが重要であると言われています。指の変形、痛みが何の病気で起こっているのかを診断してもらうことが重要です。



ヘバーテン結節

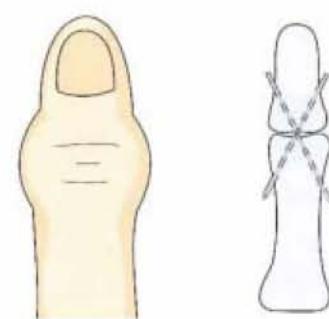
5. 治療法

ヘバーテン結節の治療は、安静と対症療法(保存的治療)が中心となります。腫れや熱感があれば患部を冷やしたり、軽くマッサージを行ったり、テーピングや装具などにより関節の安静を保つことで痛みを軽減させることはできます。また痛みが強い場合は消炎鎮痛剤を飲んだり、外用剤(シップや塗り薬)を使ったりすることも行います。

ヘバーテン結節は、さきほども述べましたように、多少個人差はあるものの、数ヶ月~数年のうちに痛みは落ち着くことが多いので、手術にいたる患者さまは多くはありません。しかし変形が進行して痛みが消えなかつたり、日常生活に支障を来したりした場合は手術を行うこともあります。

手術法としては、痛んだDIP関節(1番指先の関節)を最も使いやすい位置で固定してしまう方法(関節固定術)や出っ張った骨棘やのう胞を切除することでDIP関節を動きやすくする方法(関節形成術)が一般的に行われています。

進行してしまった変形性関節症には、特に膝関節や股関節などの下肢関節に対して人工関節置換術が一般的に行われております。手指に関しても最近になり開発されつつあるようですが、まだ一般的ではないようです。



ピニングによる関節固定術

最後に…

ヘバーテン結節は、外来診療において中高年女性に比較的よく見られる病気であり、日常生活の支障、痛みとともに関節リウマチではないかと心配して来られる患者さまが多いです。病院を受診していただき、症状の診察やX線検査、血液検査などを行うことで、その心配を解消することができます。最近、指の痛みや変形で悩んでいるといった方は是非一度ご相談下さい。



J2アビスパ福岡の ベトナム遠征帶同記



医長 宮城 哲

平成24年11月15日から22日までの6泊8日で、アビスパ福岡と共にベトナムに行ってきました。一応国際親善試合で、大会名は「第13回BTVナンバーワンカップ2012」、会場はホーチミン市から北へ20Kmほどの、ビンズオン省トゥーザモット市、会場はゴーザウ・スタジアムです。参加チームはベトナムから4チーム、タイ・ウガンダ・ブラジル・日本(アビスパ福岡)から各1チームの計8チームの予定でした。ところがウガンダのチームは11人しか来ておらず、規定違反とのことで失格となり、結局7チームでの争いとなりました(ブラジルチームも失格になったようですが、なぜか復活したようで何とも不思議な大会です)。予選リーグはグループA・Bに別れ、アビスパはグループBで4チームの総当たり戦です。結果は1勝1敗1引き分けの3位で決勝トーナメント進出はありませんでした。そのため試合後すぐにホテルに帰り、荷物をまとめ空港へ移動、深夜1時の飛行機に乗り福岡に帰ってきました。この大会の優勝はビンズオン(開催地のチーム)、準優勝はベトナムU-22とのことでした。いずれもグループAのチームで、しかも地元チームの優勝なのできっと会場は盛り上がったことと思います。



▲ 選手達の練習風景



▲ 試合会場 ゴーザウ・スタジアム

さて、私自身ベトナムに行くのは初めてです。しかもアビスパもチームとしては初めての海外遠征です。まず帯同するにあたり、診療に必要な点滴・薬剤など、何をどれだけ準備して行けばよいのか見当がつきません。2週間ぐらい前から備品のリスト作りや選手の診断書(もちろん英語)作りで、結構忙しくしておりました。結局、準備した物はほとんど使わず、診断書も提出せずで、全くの拍子抜けです。また、嘔吐・下痢などの消化器疾患に選手・スタッフがかかるのではないかと心配しておりましたが、そこはさすがにプロの集団で、冰を使わない、生野菜は取らないなどの指示が徹底しており、杞憂に終わりました。



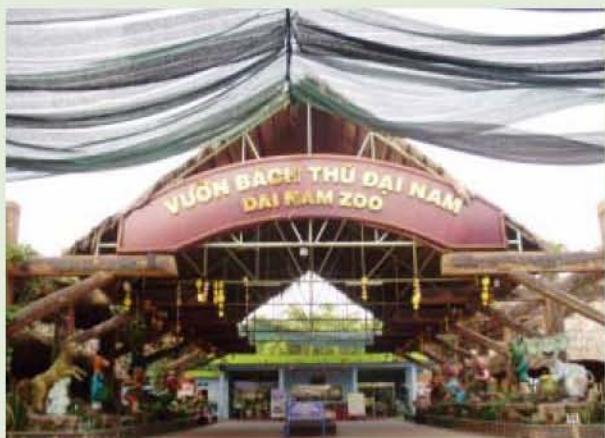
▲ バックスタンド

ベトナム遠征6日目には、午後から約6時間程度の自由時間がありました。ホテルは東南アジア最大のテーマパーク内にあり、テーマパーク内のGolden Temple、動物園を見ようと徒歩で移動しました。ところが、距離が遠く、結局動物園に着いた時には午後4時を過ぎており、チケットも売られておらず入り口を眺めただけになってしまいました。Golden Templeは仏教と言うより、三国志の世界を思わせました。

ベトナム南部の11月はちょうど乾期にあたり、雨は少ないので、蒸し暑くまるで日本の真夏のよ



▲宿泊先「ダイナムホテル」



▲動物園エントランス



▲Golden Temple

うです。最初は暑くてどうなることかと思いましたが、私も選手もすぐに慣れて、ほとんど苦になりませんでした。ホテルの部屋はクーラーが十分に効いており快適でしたが、蚊・ヤモリの鳴き声などには多少困惑した選手・スタッフがありました。シャワーの水量が少なかったり、時々断水があったりなどちょっとしたトラブルはありましたが、まあ何とかしきりました。さすがに日本並みのホテル環境を期待するのは難しいようです。

ベトナムはサッカーのレベルとしてはまだ発展途上のように見えます。今回のベトナムチームには多くの外人選手がプレーしていました。またテレビのチャンネルは60以上あり、欧州・南米のサッカーの試合が数多く放送されており、サッカー熱は相当なものですね。タイと共にそのうち日本を背かす存在になるのではないかと思います。

2012年のアビスバ福岡の成績は、J2リーグ22チーム中18位で、勝利数と総失点は下から2番目という史上最悪の成績でした。全く満足できる結果ではありませんでした。今回のベトナム遠征は、いろいろなことが初めてづくしで、選手はもちろん私にとってもいい経験になりました。この経験を生かして、アビスバの今シーズンは満足できる結果を残して欲しいものです。



海外 エッセイ



海外エッセイ～台北～

(第7回APOS: Asia Pacific Orthopaedic Symposiumに参加して)



医師 松田 秀策

Zimmer社主催の第7回APOS(Asia Pacific Orthopaedic Symposium)がH24.9.7~9に台北で行われ、参加して参りました。

羽田空港国際線ターミナルより約3時間半で、台北市中心にある松山駅機場に到着。時差は1時間で、気候は真夏といった感じであり、半袖ボロシャツ、短パン、草履といった格好が似合う感じでした。

研修会場(宿泊先)のShangri-La's Far Eastern Plaza Hotelは台北市南部にある43階建ての高層ホテルでしたが、観光地やナイトスポットに行くにはやや遠くてタクシーなどを使って移動せねばならず、主催社からも真面目に研修会出席をするように釘を刺されておりました。

9.6に到着したその夜から日本人だけを集めたセミナーが開催され、A Freiberg先生と湘南鎌倉人工股関節センター長の平川先生の人工股関節に関する講演を聞いた後、ホテル近くで顔合わせの食事会がありました。

翌日からは本格的に研修会が始まり、午前8時半から午後5時までホテル内での昼食をはさみ、みっちり行われました。セッションは人工股関節と人工膝関節の2つに分かれており、日本人参加者も股関節Drが9人、膝関節Drが9人で、合間に繋って、故宮博物院、中正紀念堂などに行かれていたようでした。



▲ 鹿江街夜市



▲ 症例報告会での様子

初日は研修会終了後、日本人Drだけを集めてそれぞれ症例報告会が行われ(Japanese session)、自分はTotal Knee Arthroplasty In A Patient With Paralytic Limb Disorderという演題で発表してまいりました。Facultyの湘南鎌倉人工膝関節センターの異先生、慶應大学の二木先生から無難なコメントを頂き、僕の研修会での役割は終了しました。

2日目はZimmer社主催の全員参加の晩餐会が、台北101最上階の中華料理店で開催されました。絶景のなか、高級中華を堪能したあと、夜市(鹿江街夜市)へ繰り出し、台湾ならではの雰囲気を味わいました。

3日目ともなると、参加された先生とも随分仲良くなり、昼食は県泰豊(博多阪急にもあります)で飲茶を味わい、午後は故宮博物院を観光、夜は参加した日本人全員での中華ディナーといった感じで、台湾観光を満喫しました。

国際学会に参加すると、さまざまな病院の著名な先生と仲良くなることで、学会では聞けないような、色々な考え方や仕事内容などを伺うことができ、自分がインスピアされることが一番有難いことだと思っておりますが、今回もそのような経験をさせて頂いたと感謝しております。

このような貴重な体験とともに、これらを日常診療に反映できるように、今後も国際学会への参加を心待ちにしております。

軽食・喫茶がオープンして、もうすぐ2年を迎えます。



軽食・喫茶紹介



入院患者さまやお見舞いの方、外来診察の患者さまなどに広くご利用いただいております。

何度も足を運んでくださる常連様も多く、スタッフ一同大変感謝しております。

一部ではありますが、当店のメニューをご紹介したいと思います。



おすすめメニュー【軽食・喫茶】

軽食 Light meal



お急ぎの方にオススメ!



カレーライス 450円



うどん・そば 350円~



スパゲッティセット 600円
(ミートソースorたらこ)

トマトはホートソースです

喫茶 Cafe



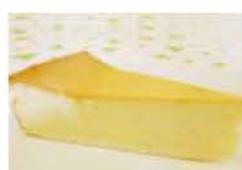
コーヒー
(エスプレッソ風) 170円



カプチーノ 240円



コーヒーフロート 270円



レアチーズケーキ

ガトーショコラ

りんごのタルト

ケーキセット(ドリンク付き) 500円

レアチーズケーキ・ガトーショコラ・りんごのタルト
からお選びください。ホットケーキもあります。



これからも、お客様に気軽にお立ち寄り頂けるお店を心がけて参ります。

スタッフより

お知らせ



医療安全管理研修会

平成24年11月26日(月)に、職員全員に対し、医療安全管理担当の当院2階病棟看護師長の山内による、医療安全管理研修会を開催しました。「与薬ミスをなくすために」という主題のもと、昨年度の与薬エラーの分析結果から、間違えやすい事例やその原因、またミスを防ぐ為の有効な対策についての話がありました。与薬ミスを起こさないよう、人のエラー特性を十分理解したうえで、人の経験や知識に頼らないシステムを作る事が必要です。当院では、指差し確認、与薬箱の管理、点滴・注射の処置は、必ず直前に患者さまに名乗って頂くなど、様々な対策を実施しています。あらゆる角度からのリスクを想定し、今後も更なる医療安全に努めてまいります。



接遇研修会

平成24年12月15日(土)、看護連盟主催の接遇研修会を開催致しました。JALステュワーデスOG会九州支部長の柳ナオコ先生より、意思を表情と動作で表現することの大切さや、上司や部下に対する適切な言葉遣いを学びました。また、否定をするのではなく、ネガティブな表現を肯定的に捉え直す(例 いつも注意される→いつも気にかけてもらっている)ことで、より良いコミュニケーションを図っていくことができるということも教わりました。今回の研修会で学んだことを、日常の業務に生かしていきたいと思います。



**KBCテレビ
「サワダテニス」に
出演しました!!**

平成24年12月10日(月)に松田医師、平成25年1月7日(月)に副院長の吉本医師が出演しました。また両日とも、自宅でできるトレーニング方法の紹介コーナーで理学療法士の岩井・藤田、リハビリ助手の江上も出演しました。松田医師は腰について、吉本副院長は腰について、痛みの原因やセルフケアについて紹介しました。放送日当日は、待合室の患者さまも楽しくご覧になっていました。番組をご覧になられた方の今後のお役に立てば幸いです。



油絵の紹介



当院の1階、外来診察室前に油絵が飾られているのを皆さんはご存知でしょうか。この油絵は、当院の患者さまであり、太平洋美術会の塙本義弘さまより、寄贈されたものです。バリ島を連想させてくれる、思わず旅行したくなるような絵画です。来院された際には、ぜひご覧ください。



院外研修実績～講演・学会発表・研修会参加実績等～

平成24年10月～平成24年12月※ 医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日付	学会名	演者	演題	場所
10.13	第18回Fukuoka Knee Society	王寺 享弘	膝関節手術における静脈血栓塞栓症	福岡
10.13	第18回Fukuoka Knee Society	真鍋 尚至	LK軟帯メッシュにて筋膜修復した下肢筋ヘルニアの2例	福岡
10.13	第18回Fukuoka Knee Society	大森 徹	小児における脛骨粗面剥離骨折の1例	福岡
10.13	第18回Fukuoka Knee Society	森永 輝地	発症早期のMRIで診断がつかなかった大腿骨内側頭特発性骨壞死の2例	福岡
10.13	第18回Fukuoka Knee Society	牛尾 哲郎	変形性膝関節症進行に伴う屈曲拘縮のX線評価	福岡
10.26	第4回下関整形外科フォーラム	徳永 真巳	大腿骨不安定型転子部骨折の治療戦略	下関
11.3～4	第23回日本臨床スポーツ医学会	碇 博哉	プロサッカー選手におけるハムストリング肉離れの検討	横浜
11.8～9	第40回日本関節病学会	王寺 享弘	人工膝単顆置換の再置換術	鹿児島
11.10	第46回福岡整形外科外傷研究会	徳永 真巳	脛骨プラトー骨折の1例	福岡
11.10	第46回福岡整形外科外傷研究会	大森 徹	脛骨粗面剥離骨折の1例	福岡
11.17～18	第124回西日本整形・災害外科学会	真鍋 尚至	大腿骨遠位部の形態に関する男女差の検討	別府
11.17～18	第124回西日本整形・災害外科学会	大森 徹	低侵襲人工膝全置換術における脛骨コンポーネントデザインの違いによる骨透亮像の検討	別府
11.17～18	第124回西日本整形・災害外科学会	森永 輝地	片側仮骨延長法における内側側副靭帯の術後変化について	別府
11.17～18	第124回西日本整形・災害外科学会	牛尾 哲郎	膝前十字靱帯不全が変形性関節症に与える影響	別府
11.22	佐世保整形外科医会	徳永 真巳	大腿骨転子部不安定型骨折に対する手術戦略	佐世保
11.30	第13回TKAフォーラム	吉本 栄治	内側OA、外側OAに対するUKAの術後成績と問題点-術後下肢アライメントについて-	東京
12.1	第29回膝関節フォーラム	松田 秀策	半月板切除後早期に発症する軟骨変化	東京

■ 看護部学会

日付	研修会名等	参加者
11.10	日本手術看護学会 九州地区 福岡分会研修会	2名
11.23	滅菌供給業務世界会議	1名
11.6～11.7	日本看護学会 成人看護II	2名
11.6～7	日本看護学会 成人看護II 人工関節置換術を受けた患者の退院後の生活調査 ～2事例の自宅訪問を通して～	演者
		青木 和代

■ 放射線科

日付	研修会名等	演者
11.24～25	第7回九州放射線医療技術学術大会 石灰沈着性肩板炎に対する結節間溝撮影の有用性	釣宮 慎次郎
11.24～25	第8回九州放射線医療技術学術大会 膝関節用コイルを用いた肘関節撮像の検討	川崎 久充
11.24～25	第9回九州放射線医療技術学術大会 前距腓韧帶付着部の裂離骨折に対する最適入射角の検討	辻 英雄
11.24～25	第10回九州放射線医療技術学術大会 やってみよう！発表！	清田 緑

■ 検査

日付	研修会名等	参加者
10.12～13	日本臨床検査自動化学会	1名

■ 栄養

日付	研修会名等	参加者
11.1	臨床栄養セミナー	1名
11.20	栄養管理研修会	1名

■ 医事・MSW・総務

日付	研修会名等	参加者
11.17～11.18	九州医療ソーシャルワーカー研修会 福岡大会	2名

■ 看護部

日付	研修会名等	参加者
10.4	からだが見える？臨床検査	2名
10.9	フィジカルアセスメント応用	1名
10.12～10.13	法律・制度・政策の最新情報とマネジメント視点	4名
10.13～10.14	AHA ACLSプロバイダー 2010	1名
10.17	高齢者の理解と尊厳を守る看護	2名
10.18	学ぼうリンパマッサージ	4名
10.19	新人看護職卒後研修制度について	1名
10.29～11.2	平成24年度新人看護職員研修責任者研修	1名
11.13	新人のためのME機器の基礎	2名
11.17	看護職とキャリア開発	3名
11.17～11.18	IMSAFERによるヒューマンエラー事例分析	1名
11.19～11.21	新人看護職員研修における教育担当研修	1名
12.19	うつ症状のある患者の看護	4名
11.20	医療安全そして医療の質へ	1名
11.20	褥瘡の予防と治療	2名

■ リハビリテーション科

日付	研修会名等	参加者
10.21～22	第2回ハンドスプリント講習会	1名
10.21	認定理学療法士必須研修会	1名
10.27	筑後地区ハンドセラピ研修会	1名
10.27	体幹後面の筋骨格系の形態と臨床触察技術	2名
11.10～11	呼吸障害と運動療法	2名
11.13	スポーツ選手に対するリハビリテーション	3名
11.22	筑後地区ハンドセラピ研修会	1名
11.24～25	スポーツ外傷障害に対する術後リハビリテーション	2名
12.16	痛みの基礎と理学療法	1名

外来診察担当医一覧表

受付時間

曜日	午前(8:30~11:30) ※診察開始 9:00~						午後(13:30~16:00) ※診察開始 14:00~
月	王寺 享弘	宮城 哲	吉本 栄治	松田 秀策	碇 博哉	大森 徹	——
火	王寺 享弘	徳永 真巳*	宮城 哲	眞鍋 尚至	大森 徹	森永 穂地	徳永 真巳・牛尾 哲郎*
水	吉本 隆昌*	徳永 真巳*	碇 博哉	眞鍋 尚至	森永 穂地	牛尾 哲郎	——
木	吉本 隆昌*	吉本 栄治	松田 秀策	碇 博哉	牛尾 哲郎	—	吉本 隆昌・吉本 栄治*
金	王寺 享弘	宮城 哲	松田 秀策	眞鍋 尚至	森永 穂地	—	香月 正昭・大森 徹*
土	交替であります(土曜の受付は11:00で終了致します。初診のみの対応です。)						——

*印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。

予約受付時間／月曜～金曜 9:00～17:00

※これは2月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火・木・金曜日の午後の診療は予約再来のみになります。



医療法人 同信会
福岡整形外科病院
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL

〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50

TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038
<http://www.fukuokaseikei.com/>

【面会時間】平日・土曜／13:00～20:00
日曜・祝祭日／10:00～20:00

【休診日】日曜・祝祭日 【病床数】175床



- バス**
- 天神(協和ビル前)より 51番
 - 天神(大丸前)より 151番
 - 博多駅(Aバス停)より 50番
- 博多駅(郵便局前)より
▼
野間四つ角で乗換え
64番
66番
67番
151番
50番
51番
- 西鉄大牟田線**
- 高宮駅下車
▼
バスに乗換え
50番
51番

降車バス停
皿山1丁目

広報委員会からのお知らせ

広報委員会では広報誌の表紙を飾る写真や絵を随時募集しております。また、広報誌に関するご意見ご感想もお待ちしておりますので、総務課までお寄せください。



Avista
FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして
『アビスバ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスバ！！